

どんな本とも相性がいい短い絵本

～時間が余った時に～

埼玉県立久喜図書館
子ども読書支援
ボランティア
おすすめ！
読み聞かせブックリスト

「ちょっと時間が余ってしまったのでもう1冊読みたい」、「長めの絵本が多いので子どもたちが飽きてしまうかもしれない」…。学校でのおはなし会で、そんなご経験はありませんか？

おはなし会のメインではないけれど、時間が余った時に読める短めの絵本やおはなし会の途中で息抜きとして読める楽しい絵本をご紹介します。



やさいのおなか



きうちかつ さく・え
福音館書店 (3分)

内容

「これ なあに」という問いかけと野菜の断面がシルエットで描かれ、ページをめくると答えの野菜がカラーで描かれています。ピーマン、たけのこ、にんじんなど、身近な野菜のおなか（このネーミングも秀逸！）から、どんな野菜かわかるかな？

読み聞かせおすすめポイント

やさいのおなか（シルエット）を見たとき、何の野菜が当てっこが始まり、子どもたちは夢中になります。幼児から大人まで、どんな方も参加でき、盛り上がる傑作絵本です！姉妹篇『やさいのせなか』（きうちかつ さく・え 福音館書店）もあります。

どっとこどうぶつえん



中村至男 さく
福音館書店 (3分)

内容

クイズ形式でページをめくり、ドットで表現された、きりんやかばなどの動物たちを当ててもらふ参加型の絵本です。

読み聞かせおすすめポイント

ドットの使い方が様々工夫されていて、どの動物が隠れているのか分かりにくいものもありますが、そこがいいです。

わからない。考える。想像する。こういう出来事が、成長の経験値になっていくのではないかと思います。

ボランティアおすすめプログラム例

『どっとこどうぶつえん』

冬におすすめの
プログラムです。

- ・絵本『おかしなゆきふしぎなこおり』（片平孝 写真・絵 ポプラ社）
- ・絵本『どっとこどうぶつえん』
- ・紙芝居『いもころがし』（川崎大治 作 前川かずお 画 童心社）
- ・手遊び「もちっこやいて」「おさらにおはしにぼたもちだんご」

スープになりました



彦坂有紀 作
もりといずみ 作
講談社 (4分)

内容

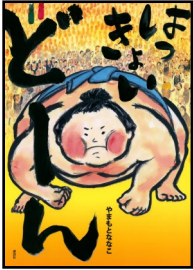
木版に描かれた柔らかみのあるにんじんやじゃがいもなどの野菜たちが、ページをめくると、それぞれの素材を活かしたスープに変身する、という作品です。

読み聞かせおすすめポイント

2、3才から小学校低学年くらいのおはなし会の小休止代わりによく使います。

あるおはなし会で、とうもろこしのページをめくる前に「ただ飲むだけじゃなくて、もっと美味しい飲み方があるよ」と言ったところ、「パンだ!」と叫んでくれて子がいました。それからページをめくり、美味しそうなコーンスープにパンを浸してみんなで食べました。描かれた世界を子どもたちと共有でき、子どもたちとの距離がとても近く感じられる大好きな作品です。

はつきよいどーん



やまもとななこ 作
講談社 (2分)

内容

最強の横綱に初めて挑む力士の迫力のある大一番を、相撲好きの作者が描いた絵本です。

読み聞かせおすすめポイント

とても短いので、おはなし会の導入によく使います。

一場面一場面気迫のこもった表情や動きに、観ている者を圧倒させる勢いがあり、相撲をよく知らなくても充分楽しめます。

見所は勝負が決まった瞬間です。初めて低学年の子どもたちに読んだ時などは「尻、尻！」と大騒ぎしていました。とにかくすごいお尻が見られます。

あるのかな



織田道代 作
飯野和好 絵
鈴木出版 (3分)

内容

「みみずにみみはあるのかな」や「おおかみにかみのけあるのかな」などのことばあそびが、絶妙にユニークな絵で楽しめる絵本です。

読み聞かせおすすめポイント

読み始めは、ことばあそびに気付きやすいように読み、ユニークな絵をゆっくり見せることで、聞き手が、だんだん「ことばあそび」だと、わかってくるようになります。

おはなし会の導入に使ったり、時間が余った時などに、数ページを選んで読むのも良いです。

『あるのかな』

13分ぐらいのプログラム。『みどりいろのたね』が少し長めの絵本です。

- ・絵本『あるのかな』
- ・絵本『みどりいろのたね』（たかどのほうこ 作 太田大八 絵 福音館書店）

ねこガム



きむらよしお 作
福音館書店 (2分)

内容

男の子がガムをかんでいます。ぷうっと膨らませたら、ねこの顔になりました。そして今度は反対にねこがぼくをすいこんじゃった！ねこがぼくの顔をふくらませて、ふくらませて…。

読み聞かせおすすめポイント

少しシュールな内容で、小さい子どもはもちろん幅広い層で楽しめるナンセンス絵本です。ぼくとねこの「クチャクチャ プー」とお互い膨らませあう様子が、どんな展開になるのかドキドキハラハラします。

た



田島征三 作
佼成出版社 (3分)

内容

米作りの収穫までの風景が、「たがやす」「たねまく」などの順番に、「た」の頭文字のことばと、力強い絵で描かれています。昔から脈々と続く米作りの大変さと喜びが伝わってくる絵本です。

読み聞かせおすすめポイント

聞き手が「これは「た」から始まることばだ」とわかると、次はどんなことばがくるのかと、にこにこして聞いてくれます。ことばが短いので、絵を見せる時間が必要になります。裏表紙の返しのひとつも忘れずに読んでほしいです。

米を勉強する5年生の秋におすすめ。

あさになったので まどをあけますよ



荒井良二 著
偕成社 (5分)

内容

あさになったので まどをあけますよ。リレーをするように何人ものぼくが、わたしが、窓を開けると見開きいっぱいに美しい景色が広がります。大好きな風景…美しい日常。きみのまちは はれてるかな？ 一人ひとりの風景と私の空がつながるような気持ちになります。

読み聞かせおすすめポイント

詩のようなことば。そこに荒井良二氏の美しい画があいまって、日常の美しさに胸うたれます。何もつけ足さず、ただ味わって欲しい。心をあたためる力、これぞ絵本の醍醐味です。

ボランティアおすすめプログラム例

『あさになったのでまどをあけますよ』

高学年におすすめの
プログラムです

- ・絵本『これはのみのぴこ』（谷川俊太郎 作 和田誠 絵 サンリード）
- ・「ならなしとり」や「三つのねがい」などの冒険のおはなし（素話）
- ・絵本『あさになったのでまどをあけますよ』

さる・るるる



五味太郎 作・画
絵本館 (2分)

内容

「さる・くる」「さる・みる」「さる・ける」「さる・とる」…。四文字の短い文で始まり、動詞の変化で物語が展開していく絵本です。

読み聞かせおすすめポイント

挿絵のさるのユーモアたっぷりの表情やリズムカルな文章に子ども達は大喜びします。シンプルながら、幼児から大人まで楽しめて、何度も読みたくなる絵本です。読み聞かせの始めに導入の一冊としてもおすすめです。シリーズが他に3冊あります。

編集発行 埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター
協力 子ども読書支援ボランティア
発行 令和7年3月
〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5 TEL 0480(21)2659



他のテーマの読み聞かせブックリストはこちらから。